

第10回環境自治体会議ニッ井白神会議

環境共生、みんなで考えてみませんか

日程

5月22日

会場：勤労者体育センター

第1部

12:30～13:00 受付
13:00～13:15 開場
13:15～13:30 オープニング
13:30～14:00 あいさつ
14:00～15:15 市町村長報告

第2部

15:30～17:00 パネルディスカッション

会場：福社会館

18:30～19:30 特別セッション

5月23日

会場：各分科会場

分科会

～9:00 役場集合（各分科会場へ）
9:00～12:00 午前の部
12:00～13:00 昼食
13:00～16:30 午後の部

会場：勤労者体育センター

16:30～17:30 エキジション
18:00～19:30 交流会

5月24日

会場：勤労者体育センター

全体会

9:30～10:30 分科会要約報告
10:30～10:45 ニッ井白神宣言
10:45～11:00 次期開催地あいさつ
11:30～ エコツアー

今月の二十二日から二十四日の三日間、ニッ井町と藤里町の両町を会場に第十回環境自治体会議ニッ井白神会議が行われます。

環境問題に深く係わりを持っている研究者、NGO、NPO、自治体関係者、住民が環境問題について議論する環境自治体会議が開催されます。これを機会にあなたも環境問題について何をしなければいけないか、いつしよに考えてみませんか。ひとりでも多く参加することにより、明日からのこの地域、地球を守ることにつながります。

参加するメリットがあります。

町民の会議への参加については基本的に無料ですが、申し込みが必要です。

また、昼食の弁当を希望する方は一食千円、交流会に参加する方は三千円の負担を頂きます。資料については簡易的なものになります。申し込みは五月十日 までにお願います。申込・問い合わせ先

庁舎二階会議室

環境自治体会議ニッ井白神会議事務局
71 0035

ニッ井白神会議内容

第一日目

オープニング

町の紹介、黒坂黒太郎氏コカリナ演奏
市町村長報告

特色あるまちづくり政策に取り組む自治体首長から「地域からはじまる協働の世紀」という全体テーマと響き合うそれぞれの取り組み事例について紹介します。環境政策にこだわらず、広くまちづくり、自治に関するものも含まれます。

・司会 丸岡町長、石岡藤里町長
・現在予定の市町村長（敬称略）

河内紘一（愛媛県内子町長）
村上達也（茨城県東海村長）
川口博（小坂町長）
黒瀬喜多（大瀧村長）

パネルディスカッション

一九九二年五月北海道池田町で第一回環境自治体会議が開催されてから十年が経過。「環境の十年」とも言われた九十年代の自治体環境政策を振り返り、現場において何が進み、何が積み残されてきたのかを検証することにも、新たな十年に向けての課題を明らかにし

昨年の第9回環境自治体会議「びわこ会議」の様子



全体会

パネルディスカッション

分科会

交流会

ます。

（敬称略）

・司会 竹内 謙（前神奈川県鎌倉市長）
・報告 中口毅博（環境政策研究所）
・パネラー

馬場弘融（東京都日野市長）
吉井正澄（前熊本県水俣市長）
田中 充（法政大学教授）
納富育代（福岡県古賀市議会議員）
中島圭子（自治労中央本部政策局長）
他

特別セッション

「白神から吹く風」と題し白神山地の保護活動に奔走し、プロジェクトXに出演した藤里町の鎌田孝一氏と元NHKプロデューサー齋明寺以玖子氏の二人の対談を通して、白神山地の自然保護活動等を紹介いたします。

第二日目

分科会

各会場で行います。（詳細は四、五頁）
エキジション
木質発電、ペレット、電気自動車などを展示します。

交流会

勤労者体育センターを会場に行います。

第三日目

分科会要約報告

各分科会の要約を発表します。

ニッ井白神宣言

次期開催地あいさつ

閉会

環境豆知識

国では平成十年に決定された「地球温暖化対策推進大綱」を見直し、新たな大綱を策定しました。その中で、一般国民による取り組みを求めるものとして、白熱灯を電球形蛍光灯に取り換える、電力消費の小さい電子レンジへの買い替え、食器洗い機の導入、節水シャワーヘッドの導入、家族が同じ部屋で団らんし、暖房と照明利用を2割減らす、テレビ番組を選び、一日一時間テレビ利用を減らす、シャワーを一日一分家族全員が減らす、冷蔵庫の効率的使用、風呂の残り湯を洗濯に使いまわす、ジャーの保温を止める、などが追加されています。

23日

第10分科会 自治体と環境起業のかかわり

福祉会館 午後

森林資源や農地を抱える農山村は、農林業主体の産業基盤が崩れ、若者の流出、高齢化が急ピッチで進んでいる。環境を守ることは地域の産業を支え、安定した社会をつくることと両立しないのか。地域特有の持続可能な新しい産業づくりをどう支援するか。

コーディネーター：小野敏明氏（夢市場）
話題提供者：糸洲義人氏（醗酵インベンション）他

第9分科会 自然との共生

ホテルゆとりあ藤里 終日

永い年月が創り出した自然を、人類はほんの一瞬で破壊し、なおその行為を繰り返している。自然は、白神山地や巨樹巨木をつくり人をつくり、その自然との共生について考える。

コーディネーター：松岡昌則氏（秋田大学）
話題提供者：鎌田孝一氏（藤里町・自然保護員）他

第8分科会 池田プラス10・環境行政の歩みと成果

藤里町総合開発センター 終日

環境計画に象徴されるこの10年間の環境行政を検証し、今後の課題を共有しながら、持続可能な地域づくりと21世紀の進むべき方向性を探る。

コーディネーター：田中 充氏（法政大学）
話題提供者：今泉 攻氏（茨城県古河市地球環境課）他

第7分科会 大量廃棄からの脱却

福祉会館 午前

ゴミの減量、リサイクル運動の結果、新たな矛盾が自治体現場にあらわれている。そこから見え隠れする法制上の課題を明らかにするとともに、ごみ処理費用が及ぼす自治体の財政負担を検証し、法改正に向けた今後の運動につなげていく。

コーディネーター：未定
話題提供者：西寺雅也氏（岐阜県多治見市長）他

第6分科会 森の息吹と山の再生

伝承ホール 終日

「山の衰えは国の衰え」中山間地域の過疎化を考えながら、国土の70%を占める日本の森林環境をどう再生するか。また、間伐材等から生ずる新たな可能性「木質バイオマスエネルギー」の実践事例を紹介し、検証する。

コーディネーター：小林一三氏（県立大学）大友詔雄氏（北海道大学）
話題提供者：竹下幹夫氏（島根県松江農林振興センター）他

第1分科会 自治体エネルギー政策

ホテルゆとりあ藤里 終日

地球環境対策は政府だけが取り組むものではなく、自治体の政策課題でもあるという認識が広まる中、省エネ、新エネ導入について自治体や市民団体の取り組みも各地で見られる。話題提供から、その現状と課題、今後の展開に必要な要素を探る。

コーディネーター：三浦秀一氏（東北芸術工業大学）
話題提供者：上林 匡氏（NEDO）他

第2分科会 豊かな水環境を次世代に

杉ホールひびき 午前

戦後の急激な発展とともに始まった人々の生活様式の変化は、河川・湖沼を汚染し、人類の生存すら危機にさらしている。水環境の変遷を考え、流域の自治体、住民が今取り組むべき課題を探る。

コーディネーター：松本 聰氏（県立大学）
話題提供者：国土交通省他

第3分科会 地域で進める環境保全型農業

公民館二ツ井分館 午後

地域農業を活性化し、環境との共生を試みる様々な取り組みが市町村独自に行われている。そうした試みの評価と検証を行いながら、多面的機能を積極的に活かしていく自治体政策を紹介し、現場における課題・障害とその解決策を模索する。

コーディネーター：先崎千尋氏（元茨城県瓜連町長）
話題提供者：佐藤剛史氏（学術振興会特別研究員）他

第4分科会 地域のエコモビリティ

二ツ井町役場 午後

持続可能な交通については、環境の側面はもとより、経済的側面と社会的側面からの検討が不可欠である。少子高齢化の進行もにらみ、中山間地を中心にマイカーに過度に頼らない交通モデル・制度の構想を試みる。

コーディネーター：太田勝敏氏（東京大学）
話題提供者：市丸新平氏（交通エコロジー・モビリティ財団）他

第5分科会 学校と地域を結ぶ環境教育

種梅ふるさとの家 終日

里地・里山の知恵、地産地消の実践的な運動や活動、廃校の再利用や教育の現場での取り組みなどを報告しながら、気象風土、歴史文化の特性を生かし、持続する地域づくりに向け、それぞれの持ち場で担いする役割を考える。

コーディネーター：竹田純一氏（里地ネットワーク事務局長）
話題提供者：栄永徳博氏（水俣市役所）他

分

会

科